

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年12月5日(2013.12.5)

【公表番号】特表2013-539778(P2013-539778A)

【公表日】平成25年10月28日(2013.10.28)

【年通号数】公開・登録公報2013-059

【出願番号】特願2013-533265(P2013-533265)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/495 (2006.01)

A 6 1 P 35/04 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/08 (2006.01)

A 6 1 K 31/428 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/495

A 6 1 P 35/04

A 6 1 P 15/00

A 6 1 P 13/08

A 6 1 K 31/428

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月15日(2013.10.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ラノラジンを含む、VGSC発現癌における転移挙動を減少または防止するための、組成物

。

【請求項2】

癌が乳癌である、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

癌が前立腺癌である、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

リルゾールを含む、癌細胞を直接死滅させることなく、VGSC発現癌における転移挙動を減少または防止するための、組成物。

【請求項5】

癌が乳癌である、請求項4に記載の組成物。

【請求項6】

癌が前立腺癌である、請求項4に記載の組成物。

【請求項7】

範囲1 μmol ～10 μmol に対応する投薬量レベルで投与するための、請求項1から3のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 8】

範囲 $1\mu\text{mol}$ ～ $10\mu\text{mol}$ に対応する投薬量レベルで投与するための、請求項4から6のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 9】

電位依存性ナトリウムチャネル電流の一過性部分を排除することなく、該電流の持続性部分を少なくとも減少させる効果を有する薬物を含む、VGSC発現癌における転移挙動を減少または防止するための、組成物。

【請求項 10】

癌が乳癌である、請求項9に記載の組成物。

【請求項 11】

癌が前立腺癌である、請求項9に記載の組成物。

【請求項 12】

細胞を死滅させない、請求項9から11のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 13】

増殖に実質的に影響を与えない、請求項9から12のいずれか一項に記載の組成物。